

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 製品名   | SFベースコート剤、SFベースコート剤補修用   |
| 会社名   | 株式会社バンザイ                 |
| 住所    | 〒105-8580 東京都港区芝2丁目3番19号 |
| 担当部門  | 営業情報企画部 リペア推進課           |
| 電話番号  | 03-3769-6882             |
| FAX番号 | 03-3456-4691             |

## 2. 危険有害性の要約

|       |                |      |
|-------|----------------|------|
| GHS分類 | 引火性液体          | 区分3  |
|       | 皮膚腐食性          | 区分1A |
|       | 重篤な眼の損傷性       | 区分1  |
|       | 生殖細胞変異原性       | 区分1B |
|       | 発がん性           | 区分1B |
|       | 特定標的臓器毒性（単回暴露） | 区分3  |
|       | 吸引性呼吸器有毒性      | 区分1  |
|       | 急性水生毒性         | 区分3  |
|       | 慢性水生毒性         | 区分3  |

GHS分類日 2011/02/08（事業者向けGHSガイダンス H21/3 経済産業省）

## GHSラベル要素



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
引火性の液体及び蒸気。  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。  
呼吸器への刺激のおそれ。  
遺伝性疾患のおそれ。  
発がんのおそれ。  
長期的影響により水生生物に有害。

## 注意書き

## 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地すること/アースをとること。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明装置を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。

# 製品安全データシート

|          |   |
|----------|---|
| 処置       | <p>静電気放電に対する予防措置を講ずること。</p> <p>粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。</p> <p>取扱い後は皮膚をよく洗うこと。</p> <p>屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。</p> <p>環境への放出を避けること。</p> <p>保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。</p> <p>飲み込んだ場合は、口をすすぎ無理に吐かせず直ちに医師に連絡すること。</p> <p>皮膚または髪に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を取り除き、皮膚を流水で洗うこと。</p> <p>吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗眼し、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。直ちに医師に連絡すること。</p> <p>特別処置（4.応急処置を参照）。</p> <p>汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。</p> <p>火災の場合、消火には乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）、または耐アルコール性フォームを使用する。</p> |
| 保管       | <p>換気の良い場所で保管すること。容器を密閉し、涼しいところに置くこと。</p> <p>施錠して保管すること。</p>  |
| 廃棄       | <p>廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関連法案・法令を遵守し適正に処理する。</p>  |
| 最重要危険有害性 |   |
| 環境影響     | <p>低蓄積性ではあるが動植物の生息または成育の支障をおよぼす疑いがある。</p>   |
| 特定の危険有害性 | <p>水と接触すると水素、アンモニアおよびシランを発生させる。</p>   |

## 3. 組成・成分情報

| 単一物質・混合物の区分    |         | 混合物        |            |
|----------------|---------|------------|------------|
| 化学名            | 含有率 (%) | 官報公示整理 No. | CAS No.    |
| ポリ(ベルヒドロシラザン)  | 1       | (2)-3642   | 90387-00-1 |
| ジブチルエーテル       | 45-55   | (2)-363    | 142-96-1   |
| 脂肪族/脂環式炭化水素混合物 | 30-40   | (9)-1689   | 64742-48-9 |
| 水素化された石油軽留物    | 10-20   | (9)-1700   | 64742-47-8 |
| オクタンおよびその異性体   | <1      | (2)-8      |            |

# 製品安全データシート

## 危険有害成分 労働安全衛生法（第57条の2）

| 化学名   | 含有量 (%) | 注意 |
|---|---------|----|
| ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロニウムスピリッツ、ホワイトスピリッツ、ミネラルターベンを含む） | 30-40   |    |

## GHS危険有害性成分

| 化学名            | 含有量 (%) | 官報公示整理 No. | CAS No.    |
|----------------|---------|------------|------------|
| ジブチルエーテル       | 45-55   | (2)-363    | 142-96-1   |
| 脂肪族/脂環式炭化水素混合物 | 30-40   | (9)-1689   | 64742-48-9 |
| 水素化された石油軽留物    | 10-20   | (9)-1700   | 64742-47-8 |
| オクタンおよびその異性体   | <1      | (2)-8      |            |

## 4. 応急措置

|                  |   |
|------------------|---|
| <b>吸入した場合</b>    | 被災者を新鮮な空気のところへ移動させ、安静を保つ。<br>呼吸が弱かったり止まっていたりする場合は、衣類をゆるめ気道を確保した上で人工呼吸を行なう。<br>直ちに医療処置をうける手配をする。                 |
| <b>皮膚に付着した場合</b> | 皮膚に付着した場合、直ちに石鹼および水で洗い流すこと。<br>汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば切断して取り除く。<br>刺激が続く場合はできるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。 |
| <b>眼に入った場合</b>   | 最低15分間、清浄な水でゆるやかに眼の洗浄を行なう。できるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。   |
| <b>飲み込んだ場合</b>   | 被災者に意識がある場合、水又は牛乳を与えて胃内を薄める。<br>無理やり吐かせてはいけない。被災者を安静にさせてできるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。                         |

## 5. 火災時の措置

|                    |  |
|--------------------|--|
| <b>消火剤</b>         | 二酸化炭素(炭酸ガス)・粉末(BC)消火器・耐アルコール泡消火器・不活性ガス |
| <b>使ってはならない消火剤</b> | 粉末消火器(ABCタイプ、リン酸塩類の消火器は使用しないこと)・水      |
| <b>消火を行なう者の保護</b>  | 全身保護衣を着用すること。<br>火災の際には適切な呼吸器を着用する。    |

# 製品安全データシート

## 特定の消火方法

蒸気を吸入しないために風上に移動する。  
火災の現場から製品を退避させるか、蓄熱による(容器内の)圧力上昇を抑えるため容器を水の噴霧により冷却する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項

換気を充分にとり、部外者の立ち入りを防ぐこと。  
適切な保護具を着用すること。

### 環境に対する注意事項

排水溝、水系あるいは土壌等へ流してはならない。  
適切な防護措置により拡散を防ぐこと。

### 除去方法

回収が終わるまで十分に換気を行い、作業の際には適切な保護衣を着用する。漏出物は不活性な物質(乾燥砂、土、おがくず、ウエス等)を用いて吸収させ、廃棄用容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

熱源、スパークおよび火気から遠ざけること。  
蒸気の吸入や皮膚、眼及び衣類への接触を避けること。  
取扱いの後には手等を十分に洗浄すること。

#### 注意事項

(使用後は)常に容器を密閉すること。  
静電気の帯電への予防対策をとること。

### 保管

#### 技術的対策

製品提供時の容器で保管すること。  
十分に換気のとれた涼しい場所で容器を密閉し保管する。

#### 保管条件

適用される法令・法規等に従って保管を行なう。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

ドラフトチェンバーあるいは局所排気装置等の使用下で取り扱うこと。  
作業場所には緊急時のシャワー設備や洗眼設備を設置すること。

### 保護具

#### 呼吸器の保護具

不十分な排気・換気または長時間にわたる暴露には呼吸保護具を用いること。

#### 手の保護具

保護手袋(耐有機溶剤)

#### 眼の保護具

リスクの程度に応じて眼に対する保護具を着用すること(サイド保護付き保護眼鏡あるいは保護ゴーグル、必要に応じて保護シールド)。

#### 身体への保護

皮膚への接触を避けるため適切な保護具を着用する。  
保護服(耐有機溶剤)

# 製品安全データシート

## 9. 物理的及び化学的性質

|     |     |             |
|-----|-----|-------------|
| 外観  | 形状  | 液体          |
|     | 色   | 無色透明        |
| 臭い  |     | ミネラルスピリット様臭 |
| 引火点 |     | 29 °C       |
|     |     | ジブチルエーテル    |
| 溶解性 | 水溶性 | 不溶          |

## 10. 安定性及び反応性

|            |   |
|------------|---|
| 避けるべき条件    | 強酸化剤との接触を避けること。また強酸性および強塩基物質との接触は本製品の加水分解をおこすおそれがある。<br>水およびアルコールとの接触を避けること。<br>熱源、スパークおよび火気から遠ざけること。   |
| 危険有害な分解生成物 | 本製品は水の存在により徐々に加水分解され、水素及びアンモニアガスを発生する。さらにシロキサンも生成する。<br>熱分解により二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )、一酸化炭素(CO)、窒素酸化物(NO <sub>x</sub> )を発生させるおそれがある。残渣物として酸化ケイ素を含む。 |
| 反応性        | 水の存在により徐々に加水分解され、水素、シランおよびアンモニアガスを発生させる。  |

## 11. 有害性情報

### 製品情報

#### 皮膚腐食性及び刺激性

腐食性(corrosive)あり。

#### 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

眼に重度の障害を与えるリスクがある。

分類：腐食性(corrosive)あり。

本製品は未試験（眼腐食・刺激性）です。本情報は皮膚刺激性の結果に基づき分類されました。

#### 発がん性

本製品には国際的に発がん性物質として知られる一つあるいはそれ以上の物質が0.1%以上含まれています。

### 組成情報

#### ジブチルエーテル

|                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 急性毒性（経口）          | LD50: 5,686mg/kg(ラット) |
| 急性毒性（経皮）          | LD50: 7,745mg/kg(ラット) |
| 皮膚腐食性及び刺激性        | 重度の皮膚刺激性(ウサギ)         |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 強い(severe)眼刺激(ウサギ)    |
| 特定標的臓器毒性（単回暴露）    | 眠気又はめまいのおそれ。          |

## 製品安全データシート

### 脂肪族/脂環式炭化水素混合物(64742-48-9)

|                     |  |
|---------------------|--|
| 変異原性                | 生体内テストで突然変異誘発性が示された。   |
| 発がん性                | ヒトに対して発がん性の可能性のある物質。<br>EU CLP-Annex VI Table 3.1: 区分1B                |
| 吸引性呼吸器有害性           | 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ。   |
| <u>オクタンおよびその異性体</u> |  |
| 皮膚腐食及び刺激性           | 皮膚刺激性  |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性   | 眼刺激性   |
| 特定標的臓器毒性 (単回暴露)     | 標的臓器：中枢神経系<br>臓器の障害。<br>標的臓器：気道刺激性、麻酔作用<br>呼吸器への刺激のおそれ。<br>眠気又はめまいの恐れ。 |
| 吸引性呼吸器有害性           | 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ。   |

## 12. 環境影響情報

### 製品情報

#### その他の環境影響情報

|             |                                    |
|-------------|------------------------------------|
| 生態系に関する追加情報 | 環境影響に関する調査 (試験) は本製品において実施しておりません。 |
|-------------|------------------------------------|

### 組成情報

#### ジブチルエーテル(142-96-1)

|                |   |
|----------------|---|
| 生態毒性           | EC50: 26mg/l(48h), Daphnia magna (オオミジンコ) |
| 生分解性           | 難分解性(3%)                                  |
| 生化学的酸素要求量(BOD) | 3%  |

#### 水素化された石油軽留分(64742-47-8)

|                     |   |
|---------------------|---|
| 生体毒性                | LC50: 2.2mg/l(96h), Lepomis macrochirus (ブルーギル サンフィッシュ) |
| 生分解性                | 難分解性  |
| <u>オクタンおよびその異性体</u> |   |
| 生体毒性                | EC50: 0.18mg/l(48h), Daphnia magna (オオミジンコ)             |

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

下水、地中、水中への廃棄を行なってはならない。  
焼却する場合は関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約

# 製品安全データシート

し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)および関連法規・法令を遵守し適正に処理する。

製品が付着している容器・包装

空容器を廃棄する場合は、内部に付着した物を完全に除去し、上記の方法に従って廃棄を行う。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### IATA

|                           |   |
|---------------------------|---|
| UN number                 | 2920  |
| Description of the goods  | CORROSIVE LIQUID, FLAMMABLE, N.O.S.<br>(Poly(perhydrosilazane), Di-n-butyl ether) |
| Class                     | 8   |
| Packing group             | II  |
| Labels                    | 8 (3)   |
| Environmentally hazardous | no  |

#### IMDG

|                          |   |
|--------------------------|---|
| UN number                | 2920  |
| Description of the goods | CORROSIVE LIQUID, FLAMMABLE, N.O.S.<br>(Poly(perhydrosilazane), Di-n-butyl ether) |
| Class                    | 8   |
| Packing group            | II  |
| Labels                   | 8 (3)   |
| EmS number 1             | F-E   |
| EmS number 2             | S-C   |
| Marine pollutant         | no  |

## 15. 適用法令

### 化審法

第三種監視化学物質 (267,オクタン)

### 労働安全衛生法

有機溶剤中毒予防規則, 第三種有機溶剤等

54: ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロニウムスピリッツ, ホワイトスピリッツ及びミネラルターペンを含む)

名称等を通知すべき危険物および有害物 (法第57条の2)

ミネラルスピリット(ミネラルシンナー、ペトロニウムスピリッツ、ホワイトスピリッツ及びミネラルターペンを含む)

### 毒物及び劇物取締法

規制されない。

### 消防法

第四類 引火性液体 第二石油類 危険等級III、非水溶性、指定数量1,000L

# 製品安全データシート

PRTR法

規制されない

## 16. その他の情報

記載内容は現時点で入手可能な資料、データに基づいて作成しており、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を安全に行っていただくために作成されたものです。また記載されている情報はいかなる保証もするものではなく、品質を特定するものでもありません。



## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 製品名   | SFトップコート剤、SFトップコート剤補修用   |
| 会社名   | 株式会社バンザイ                 |
| 住所    | 〒105-8580 東京都港区芝2丁目3番19号 |
| 担当部門  | 営業情報企画部 リペア推進課           |
| 電話番号  | 03-3769-6882             |
| FAX番号 | 03-3456-4691             |

## 2. 危険有害性の要約

## &lt;GHS分類&gt;

|           |                 |       |
|-----------|-----------------|-------|
| 物理化学的危険性  | 引火性液体           | 区分4   |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経口)        | 区分外   |
|           | 急性毒性(経皮)        | 区分外   |
|           | 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | 区分2 B |
|           | 生殖細胞変異原性        | 区分外   |
|           | 発がん性            | 区分外   |
|           | 生殖毒性            | 区分2   |
|           | 特定標的臓器毒性(単回暴露)  | 区分1   |
|           | 特定標的臓器毒性(反復暴露)  | 区分2   |
| 環境に対する有害性 | 分類できない          |       |

※上記で記載が無いものは、分類対象外または分類できない

## &lt;ラベル要素&gt;

## 絵表記



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

可燃性液体  
重篤な眼への刺激性  
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
臓器の障害(中枢神経系、全身毒性、肝臓)  
長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ(肝臓、脾臓、血管)

## &lt;注意書き&gt;

## 安全対策

使用前に全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
取扱中は、皮膚に触れない様に注意し、保護眼鏡(ゴーグル型)、保護手袋、保護マスク、保護衣などの適切な個人用保護具を着用すること  
ミストや蒸気を吸い込まないようにし、使用後はよく手を洗うこと。

## 救急措置

飲み込んだ場合は口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。  
眼に入った場合は数分間洗眼し、医師の診断を受けること。  
皮膚に付着した場合は石鹸を用いて多量の水で洗い、皮膚刺激が生じた

# 製品安全データシート

保 管

場合は直ちに医師の診断を受けること。また、衣類が汚染された場合はすぐに取り除くこと。

廃 棄

蒸気を吸入し気分が悪くなった場合は直ちに医師の診断を受けること。容器を密閉し、直射日光を避け、熱源から離れた換気の良い場所で保管すること。

内容物／容器等の製品付着物は関係法令に従って廃棄すること。

## 3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別 混合物

| 成分名          | 含有率 (%) | 化審法番号   | CAS No.    |
|--------------|---------|---------|------------|
| シリコンレジン      | 15-25   | あり      | あり         |
| 炭化水素系溶剤      | 非公開     | あり      | 68551-20-2 |
| グルコールエーテル系溶剤 | 非公開     | あり      | 56539-66-3 |
| イソプロピルアルコール  | 1-2     | (2)-207 | 67-63-0    |

## 4. 応急措置

皮膚に付着した場合

すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。

眼に入った場合

直ちに清浄な水で5分間以上洗い流す。眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。

飲み込んだ場合

水で口内を洗い(その人の意識がある場合のみ)、嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させ、直ちに医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護

救急者は、保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項

医師の診断を受ける際、このMSDSを示す。

## 5. 火災時の措置

消火剤

泡、噴霧水、乾燥砂、粉末。

特定の消火方法

移動可能な場合は、速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。

着火した場合

火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて風上から消火。

消火を行う者の保護

火災により有毒ガスやヒュームが発生する可能性があるため、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は保護具を着用し、風上で作業する。屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。



# 製品安全データシート

|     |            |
|-----|------------|
| 沸点  | 210℃ (主溶剤) |
| 発火点 | 350℃ (主溶剤) |

## 10. 安定性及び反応性

|            |                           |
|------------|---------------------------|
| 安定性        | 通常の取扱いにおいて安定。             |
| 危険有害反応可能性  | 燃焼により、CO等の有害ガスを発生する恐れがある。 |
| 避けるべき条件    | 加熱および火気、水気。               |
| 混蝕危険物質     | データなし                     |
| 危険有害な分解生成物 | データなし                     |

## 11. 有害性情報

製品としてのデータがなく、混合物として加算性、加算式及びカットオフ値により区分した。

### イソプロピルアルコール

|            |   |
|------------|---|
| 急性毒性/経口    | LD50:3437mg/kg(ラット)   |
| 急性毒性/経皮    | LD50:4059mg/kg(ウサギ)   |
| 急性毒性/吸入・蒸気 | LC50:29620ppm/4H(ラット)   |
| 皮膚腐食性・刺激性  | ウサギ皮膚刺激性試験では刺激性なし又は軽度の刺激性の報告があるが、ヒトでのボランティア及びアルコール中毒患者の治療のため皮膚適用した試験では刺激性を示さない。 |

### 眼に対する重篤な損傷・刺激性

ウサギでの眼刺激性試験では、軽度から重度の刺激性の報告があるとの記述があるが、重篤な損傷性は記載されていない。

### 呼吸器感受性

データなし

### 皮膚感受性

モルモットでのビューラー法による皮膚感受性試験で陰性。

### 生殖細胞変異原性

in vivoでのマウス骨髄細胞を用いた小核試験で陰性。

### 特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)

ラットでの吸入暴露による活動性の低下があるとの記述、及びヒトでの経口摂取による急性中毒では消火管への刺激性、血圧体等の低下、中枢神経症状、腎障害が認められている。ヒトで鼻、喉への刺激性が認められており、気道刺激性がある。

### 特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)

ラットでの86日間又は4ヵ月間吸入暴露試験で、血管、肝臓、脾臓に影響が認められたとの記述がある。

### 吸引性呼吸器有害性

ヒトに関する情報はないが、ラットでの気管内投与により、24時間以内に心肺停止による死亡が認められており、かつ動粘性率は概略1.6前後であった。

## 12. 環境影響情報

製品としてのデータがなく、混合物として加算式により区分した。

# 製品安全データシート

## イソプロピルアルコール

水生環境有害性(急性) 魚類(ヒメダカ) LC50 >100mg/L/96h(環境省生態影響試験)  
 水生環境有害性(慢性) 難水溶性ではなく(水溶解度=1.00×10<sup>8</sup>mg/L) 急性毒性が低い。

### 13. 廃棄上の注意

**残余廃棄物** 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

**汚染容器及び包装** 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

### 14. 輸送上の注意

**国連分類** 該当しない

**国連番号** 該当しない

**特定の安全対策及び条件** 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。重量物を上積みしない。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。移送時にイエローカードの保持が必要。

**陸上規制情報** 国内規制 消防法の規定に従う(危険物第4類第3石油類)

**海上規制情報** 国際規制 IMOの規定に従う(非危険物)  
国内規制 船舶安全法の規定に従う(非危険物)

**航空規制情報** 国際規制 ICAO/IATAの規定に従う(非危険物)  
国内規制 航空法の規定に従う(非危険物)

### 15. 適用法令

**労働安全衛生法** 通知物質 イソプロピルアルコール  
表示物質 イソプロピルアルコール

**消防法** 危険物第4類第3石油類(非水溶性)

**毒物及び劇物取締法** 該当しない

## 製品安全データシート

---

### 16. その他の情報

参考文献/資料                    GHS対応モデルMSDS情報（安全衛生情報センター）  
   化学物質総合情報提供システム（nite:製品評価技術基盤機構）  
   各種法令集、その他

本データシートは、一般的な工業的用途について、製品の適切な取扱いを確保するための参考情報として提供するものです。現時点で弊社が入手可能な資料並びに測定等に基づき作成したもので、記載の数値等について、いかなる保証をするものではありません。これを参考として、個々のご使用者様において実態に応じた安全かつ適切な措置をお取り下さるようお願い致します。

また、特別な取扱をされる場合につきましては、新たに適切な安全対策を実施のうえ、お取り扱いをお願いします。